



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

# 佐土原ロータリークラブ週報

1998～99年度 会長賞

国際ロータリークラブ会長 ジェームスL.レイシー



## ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基盤として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊敬されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

第520回 平成10年9月4日（金）

### 〔本日のプログラム〕

<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 点 鐘</li> <li>2. 国 歌 斉 唱</li> <li>3. ロータリーソング 「手に手つないで」</li> <li>4. 「四つのテスト」唱和</li> <li>5. 食 事</li> <li>6. 会 長 の 時 間</li> <li>7. 幹 事 報 告</li> <li>8. 委 員 会 報 告</li> <li>9. 点 鐘</li> </ul>	<p>次 回 予 告</p> <p>★9月11日（金） 夜間例会 9月セレモニー</p> <p>★9月16日（水） 親月会</p> <p>★9月18日（金） 休会</p>
<p>佐土原ロータリークラブ</p> <p>例会日 毎週金曜日（12:30～13:30） 会 長 加藤 仙之          例会場 石崎浜荘 ☎0985-73-1913 副会長 福井 輝文          事務局 宮崎県佐土原町大字下那珂3887-17 幹 事 吉田康一郎          ☎880-0212 会 計 恒吉 正志          ☎&amp;FAX0985-73-7170</p>	

## 第 5 1 9 回例会記録 (1998. 8. 28)

### ☆会長の時間

会長 加藤 仙之君

皆さんこんにちは、今日は西都ロータリークラブからゲストがおいでですのでご紹介をいたします、小畑正照君です、職業分類はスイミング教室となっています。

残暑厳しい毎日ですが朝のテレビで、栃木県、福島県、の豪雨被災が放映されていました。河川の氾濫や、障害者施設の裏山が崩壊し死者まで出ている様です。昨日の宮日新聞には「カラカラ天気街路樹ひん死」、散水作業大忙し、の記事がありました。それによりますと、県内では23日にわずかな雨が降りましたが、水不足解消とまではいかず街路樹の被害が心配されます。沿道のツツジ類はひん死の状態のものもあり深刻であり、宮崎市内の街路樹管理業者は連日、散水作業に追われて、例年になく忙しさに悲鳴を上げているとあります。

23日以降も雨は降らず、カラカラの天気が続いています、農家も乾燥しきった畑には種も蒔けず一日も早くまとまった雨が欲しいと、雨乞いの話まででているしまつであります。後は東シナ海に発生している台風4号によるまとまった雨にきたいしたいが、台風4号がこのまま北上しても台風進路の西側にあたる、本県にはほとんど雨は望めそうにないと、日本気象協会宮崎県支部では言っています。八月に雨もな

い台風も上陸しないとは異常であり、ゴルフ場の芝は大丈夫であろうか心配である。

さて、気象情報はこれくらいにいたしまして、今月は会員増強拡大月間でしたが、新会員の入会は有りませんでした、会員増強拡大は年間をどうして推進していかなければならないと考えております、会員各位のご奮闘をお願い致します。

25日の宮崎地区七クラブ会長、幹事会での、米山奨学金の件では、宮崎ロータリークラブの長友会長さんから前会の2000円アップについては、取り下げを致しますので、各クラブの状況を報告してくださいということで、宮崎東、佐土原クラブは、財源がとぼしいので現状維持でお願いしたい、外の五クラブは、前期、後期で2000円のアップで考えていますとの事でした。

2番目に、先進国サミット宮崎誘致についてのお話がありました、RCは政治には関与しないが、先進国サミットについて宮崎県は官民一体となって、誘致活動を行っているが、ロータリーは何もしなくていいのかと言う声がある、今後推進協議会と話をしていくが支援をしていく事になれば支援の方法などは、各クラブの週報に掲載しているとはと言うようなお話がありました。

### ☆幹事報告

幹事 吉田 康一郎 君

例会変更通知

1. 9月9日(水)『観月夜間例会』の為 時間18:30~に変更  
日向中央RC
2. 9月17日(木)『観月夜間例会』の為時間18:30~に変更  
宮崎中央RC
3. 9月21日(月)『観月夜間例会』の為時間18:30~に変更  
日向RC
4. 9月21日(月)「クラブ協議会」の為時間18:30~に変更  
宮崎東RC
5. 9月22日(火)『観月夜間例会』の為時間18:30~  
場所ホテルオーシャン45  
宮崎RC
6. 9月28日(月)『観月会』の為時間18:30~に変更  
宮崎南RC
7. 9月14日(月)「施設訪問」の為 例会場を県立宮崎赤江養護学校に変更  
宮崎東RC

例会休会通知

1. 9月23日(水)休会 日向中央RC
2. 9月15日(火)休会 日向東RC
3. 9月23日(水)休会 宮崎北RC
4. 9月15日(火)休会 宮崎RC

☆親睦委員会より

委員長 郡司武俊君

1. 前回申しました、歯車会ゴルフコンペの参加者を再度募ります。  
佐土原RCより2組は参加したいと思います。

2. 観月会について

プログラムでは9月4日(金)の予定でしたが、フェニックスの観月会開催中(9/14~9/16日)の方が何かと好都合なので9月16日(水)に変更いたします。9月18日(金)の例会は休会になります。  
詳細は下記の通りです。

記

日時 9月16日(水)18:30~  
場所 シーサイドホテル・フェニックス 月見会場「ルーフガーデン」  
食事会場「旭の間」

会費 後日

★御夫人(ご家族)同伴にて多数の参加をお願い致します。

☆出席報告

委員長 宮原 建樹君

会 員 数	25名
H C 出席者数	19名
欠 席 者 数	6名
出 席 率	76%
メークアップ者数	2名
修正出席率	84%
欠 席 者 名	福井、徳丸、宮本、林(卓)

次回より9月になります。

新しく当番になられる方は第1班 垂水君 第2班 郡司君 第3班 福井君 第4班 加藤君 第5班 林(厚)君です。宜しくお願ひします。

## 「地域づくり」

池田 仁 志

佐土原の商店街が寂しくなり、何とかしなければ店がなくなるの声で「くじら会」が出来ました。

そこに所属することで、多くの方々との交流が出来、様々なアイデア、情熱的な活動の貴重な話が聞けました。少しその話をしたいと思います。

「くじら会」での、「まちづくり」は、特産品造りで、街を活性化する事だと「くじら」の特産品づくりに明け暮れていました。くじらの焼酎・福吹く鯨・白鯨の二品目、くじら料理の店四店、くじらのぼり、くじらの浴衣、くじらの畳、等々

ところが、全国のメンバーが集まる交流会に参加する毎に、「まちづくり」とはそれだけではない、何か不足している、と自分自身思うようになりました。

第7回、第8回、第9回 第10回、と日本ふるさと塾「花咲爺の集い」で、北は北海道の阿寒町から、南は鹿児島県の指宿市まで、多くの方々参加します。

毎回参加の埼玉県から、井原与野市長・相川浦和市長、長野県でのオリンピック開催までこぎ着けた、野沢温泉村の久保田村長、ワインのまちを造った池田町長。

各県から市長・町長・県議・市議・町議、県・市・町の職員、私達みたいな町おこし団体の役員・会員、顔なじみも多くなりました。ヤーと京都府野田川町 泉欽也君、商工会の青年部長をしています。今回は、新婚旅行も兼ねて奥さんを連れてきていました。兵庫県淡路島から、吹き戻し保存会の会長木村さん。

再会するのが楽しみな方ばかりです。

萩原先生を中心に、放射状に238名、各団体が席に着き萩原先生より紹介。

待ちに待っていました、1年間の活動や考えが聞けます。

9:30分開会、今回は、合併と政令都市問題に取り組んでいる与野市長、浦和市長と萩原先生との対談で、テーマは「点から面へのまちづくり」でした。一方地方分権・

行政の効率的なスリム化が叫ばれています。が、東京アクアラインが開通、表玄関となった、木更津市が会場です。

午後は、13:00から「心の架け橋」がテーマで会議が始まりました。

釧路市浜木さんの「くしろ千灯祭」の話を京都府野田川町泉君の「野田川万灯」、

横浜市から参加、産経新聞の記者大串さんの話、介護キャンペーンで、高齢化社会を取材していくと、その地域が見えてくる、自分の生き方を持っている人は、生き生きしている、65歳以上が、1,900万人おられ15%が障害を持った人、85%は元気な人である。その9割が何をしたいか解らない「生きる」目的が持てる地域づくりを。

子ども達がふるさとづくりに一生懸命の栃木県「今市市、星を見る会」と私達「くじら会」との心の交流。感動が伝わり涙を誘われましたと、話してくれた人。

18:30から「夜なべ談義」の始まりです。皆さんが各地から持参の銘酒、名産品の山です。自慢話と郷土料理に花が咲き、終わるのが惜しいくらい楽しいひとときでした。

「地域づくり・まちづくり」とは、自治体が市民の参加や協力を求めながら、福祉、産業振興、教育・文化・スポーツ等の面で自分たちの条件や個性を反映した政策を自主的につくり実行していくことをゆう。と書いてある。

子ども達に、自分のふるさとが好きですか。誇りにしていることがありますか。

「地域づくり」とは、子ども達が誇れるまち、故郷のために自分が何かしたいまち、ずーと住みたい町を造ることではないかと思う。

8月24日の毎日新聞に、モンゴル展が開かれているが、今なぜに、民族博士小長谷有紀さんが、私たち農耕文化や、都市文明が様々に行き詰まっているいま、何者にもとらわれず、天と地と一体となって生きて草原の民たちに学ぶことは多いと。

どちらを向いても、閉塞感に満ち満ち気宇の壮大さはかけらもない。でも「雲の上は青空」。どでかい夢を！。